

砂でつくる夢と感動！
2022 吹上浜

砂の祭典



5月3日から5日まで2022吹上浜砂の祭典を「まちなか」で開催。新型コロナウイルス下で2回目となりましたが、感染症対策を徹底し、約3万5千人の来場者で賑わいました。また、日頃から交流のある北海道旭川市や岩手県釜石市のほか、中東バレーン王国の駐日大使もご来場いただき、交流を深めました。

今年で35回目となる吹上浜砂の祭典。密を避けるため、昨年に引き続き、会場を市役所や本町通商店街周辺、武家屋敷群がある加世田麓の3エリアに加え、吹上浜海浜公園をサテライト会場として「まちなか」で開催。特産品販売や各種イベント会場を分散したほか、スタンプラリーや鳳凰高校の生徒が企画した謎解きを開催するなど来場者の周遊化を図りました。

今年の砂像テーマは「砂像でめぐる日本の旅〜九州・沖縄編〜」で、新型コロナウイルス感染症の影響で

思うように旅や帰省ができない状況を踏まえ、九州・沖縄の街並みや歴史、文化を砂像で再現。来場者からは「砂で作っているとは思えない」「いろんな場所を一気に観光した気分になった」など、驚きや喜びの声が聞かれました。砂像の周りや会場は、マリーゴールドや加世田常潤高校の生徒が栽培したサルビアで彩られ、砂像と綺麗な花を背景に記念撮影をする来場者も多くみられました。今後より多くの皆様に、砂でつくる夢と感動をお伝えできるよう、挑戦と進化を続けていきます。





吹上浜砂の祭典実行委員会
実施推進本部長
松元 正明 さん



開催にあたりましては、多くの皆様にとくさんのご協力をいただきまして感謝申し上げます。今年も新型コロナウイルス下での開催となりましたが、昨年と違うのは県外の関係都市から砂像制作隊や訪問団、特産品などを受け入れることができたということです。また、砂像という文化を通して中東パーレーン王国の駐日大使にお越しいただくなど、新たな交流も生まれました。官民一体となって、他地域との交流を大事に創り上げてきた吹上浜砂の祭典。次年度の開催は未定ですが、状況に合わせて地域にとって良い形で開催できればと考えていますので、今後ともご協力よろしくお願いします。